

て積極的に廃止運動を爲すべし

一、その他一切の方法は新任執行部に一任する。

第六十一號 植民地解放に關する件

東京府支部聯合會提出

第六十二號 労働者管理による國營公

管無料診療所設置に關する件

同上

第六十三號 反動的労働組合法排撃の

件 同上

六十 地方議會闘争方針の件

第六十五號 煙草、鹽、汽車賃等の値下

に關する件 同上

第六十六號 帝國主義戦争絶對反對の

件 同上

第六十七號 家賃借金支拂猶豫令獲得闘

争に關する件

同上

主 文

労働者農民無産大衆の生活権を剝奪せんとする現下の殺人的不景氣突破の手段として、兼ねて彼等金融資本家共が執つた支拂猶豫の方法を逆用し、家賃借金支拂猶豫令を闘争によつて獲得せんとするものである、本大會は茲に次の決議をなさんとす。

決 議

労働者農民小商人等勤勞を以つて生活の基本となす者の私法上の金融債務を生活の安定を保證し得る時迄之れが支拂を延期する法令の制定を要する。右決議す。

理 由

資本主義末期に於ける必然の永久的不景氣は愈々深刻化し社會的不安の狀勢をかもしつ、一九三〇年は暮れんとする償鬼は益々荒れ狂ふ。年暮に際し働かねば食へない都會の労働者失業群の續出。其他辛ふじて店を張る小市民が不景氣の悲境は家賃の延滞を原因とする。借家争議の激増、豊年を前に米價の下落農村の疲弊小作争議による立毛差押等々、生活に苦しむ憐憫たる光景は殆んど想像外にして一々之れを語るに堪へないほど無産大衆は現下の不景氣の影響

共が使用したる支拂猶豫の方法を無産大衆に關する無産大衆に施行して、此の期に處するが至當なりとする。

自ら生きんが爲めには他を殺す事も正當防衛として許される今日、吾々無産大衆をして飢餓線上に追ひつめる金融資本家本位の政策に對して、吾々が生活權擁護の爲めに、その生活苦より解放されんとする要求が許されない理由が何處にあるか？

茲に吾々は彼等支配階級が自らの爲めに作つた法律を生きたが爲めの權利の主張に依つて金融資本の支配と闘ひ、無産者の家賃借金支拂猶豫令を獲得すべく本案を提議する。

實 行 方 法

一、決議を政府に手交し、政府に迫ること。

二、本案要求を提げて第五十九議會の政府彈劾運動に合流する事。

三、本黨支持團體と連絡をとり支拂猶豫を實行に移し本令施行の止むなきに至らしむる事。

第六十八號 教育方針確立に關する件

東京府支部聯合會提出

主 文

吾等は全國大衆黨の教育方針を確立し、全國各支部、黨員に對し、統一的、階級的教化、訓練の徹底を期す。

理 由

今や資本主義没落期に直面せる帝國主義ブルジョアデイは其の最後の血路を開かんとし、金解禁、産業合理化等々、一切の政策を擧げて資本家地主の負擔を労働者農民の頭上に轉化せんとし、あせり、もがいてゐる。而も日に激化し行く大衆の生活と窮乏化、失業者群の増大、ストライキ行動——斯る大衆の反抗を彈壓し蹂躪し、昂り行く階級對立の尖鋭化の事實を掩ひ陰し、プロレタリアートをして永遠の奴隸とし屈從せしむべく、今や支配階級は政治に、經濟に、教育に、宗教、文藝に、一切の精力を集中し、大衆の反動化、隷屬化のための巧妙なる偽購政策を強行しつゝ、ある。

我々は斯る現實に直面して、その偽購政策の本質を曝露すると共にその反抗と闘争意識を昂揚し、強化し、訓練して正しく發展させ、之を階級戦線の前線に動員せしむるため一定の統一的方針を持たねばならぬ。即ち大衆に對して、一切の闘争を通じて科學的理論の把握をなさしむること